

イ 補助金の額

事業を行うのに要する経費の2分の1以内の定額とし、20万円を下らない額とする。

ウ 本年度の事業概要

部 門	市町村名	事 業
合 唱	梁川町	1 文化のふるさとづくり推進会議の設置 2 コーラスバスの運行 3 合唱教室、講習会開催 4 ミュージックフェスティバル開催 5 県合唱コンクール、県おかあさん合唱祭参加 6 その他各種合唱講習会参加
文 芸	矢吹町	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 たのしくやさしい文芸教室開催 3 文芸講演会 4 機関誌(文芸のふるさとだより)発行 5 有線放送その他によるPR活動 6 文芸団体の育成(助成) 7 シンポジウムの開催
美 術	喜多方市	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 写真教室墨絵教室、陶芸入門講座、彫塑講習会、書道講習会、漆芸入門講座の開催 3 親子スケッチ会 4 市美術展、市写真展 5 各教室、講習会の教室作品展示会
舞 踊	浪江町	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 舞踊学級(各公民館単位)開設 3 グループの巡回指導 4 指導講習会 5 舞踊のふるさと発表会
	船引町	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 指導者講習会派遣 3 レコード(ふるさと音頭、船引小唄)制作 4 講習会開催 5 舞踊のふるさと発表会
民俗芸能	飯館村	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 復活予定の芸能現地調査 3 保存会連合会の設立 4 飯館村民俗芸能発表会 5 現地公開の収録及び復活不可能な芸能の記録 6 県芸能大会視察
	南郷村	1 文化のふるさとづくり推進会議設置 2 「南郷の民俗芸能」発刊 3 盆踊り、早乙女踊り現地公開 4 村芸能祭開催 5 福島県民俗芸能大会参加

(3) 地方文化施設自主事業の促進

地方における芸術文化活動の振興を図るため、地方文化施設が行う優れた音楽、演劇、舞踊、美術、文芸等の芸術文化行事について、その経費の一部を、文化庁及び県が補助して、下記の事業を推進した。

ア 補助事業者名

(ア) いわき市長

イ 補助事業の内容

(ア) 音楽会(N響トップコンサート)

㊦ 日 時 7月8日～9日
㊧ 会 場 いわき市立文化会館
㊨ 演奏家 小 出 信 也
小 出 直 子
青 木 紀 子

㊩ 鑑賞者数 580名

(イ) 第6回いわき市民美術展覧会

㊦ 日 時 絵画の部 10月1日～7日
書 の 部 10月9日～15日

㊧ 会 場 いわき市立文化会館

㊨ 出品点数
絵の部 148点 書の部 174点

㊩ 観覧者数
絵の部 3,215名 書の部 2,167名

(ウ) 文芸講演会(考古学)及び考古資料展

㊦ 期 、 日 講演会 2月26日
考古資料展 2月25日～3月6日

㊧ 会 場 いわき市立文化会館

㊨ 講 師 樋 口 清 之

㊩ 聴講及び観覧者数
講演会 400名
考古資料展 5,500名

(エ) 文芸講演会(文芸)

㊦ 期 日 3月24日

㊧ 会 場 いわき市立文化会館

㊨ 講 師 草 柳 大 蔵

㊩ 聴講者数 480名

(4) 芸術文化活動の向上

① 県文学賞

ア 応募数

小説34、詩64、短歌42、俳句31、計 171点

イ 審査委員

(小説) 岩間 芳樹 藺部 一郎 長嶋 恒義
(詩) 大滝 清雄 相田 謙三 三谷 晃一
(短歌) 山本 友一 阿久津善治 大内與五郎
(俳句) 加藤 楸邨 伊藤 松風 福原 十五

ウ 企画委員

広 沢 康 郎 佐々木 謙 次
今 泉 壯 市 村野井 幸 雄
安 齋 哲 天 城 南海子
石 川 日出男 鈴木 正 治
本 多 隼 男 阿 部 信 市